

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	神戸都心三宮地区における魅力的でにぎわいのあるまちづくり(その2)														
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当				
交付対象	神戸市,兵庫県														
計画の目標	神戸市の玄関口である都心三宮地区において、市民や来街者が自由に集い・憩える滞留空間等の創出や、誰にでもわかりやすい交通結節点としての機能強化による利便性の向上、災害に強い市街地の形成を図り、魅力的でにぎわいのあるまちづくりをめざす。														
全体事業費(百万円)	合計 (A+B+C+D)		33,852	A	33,852	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／(A+B+C+D)		0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		H35末
1	雲井通5丁目地区について、耐震性が不足している建物を減少させる。			
	雲井通5丁目地区における耐震性が不足する建物の床面積の割合	42%	%	0%
2	事業化を検討している地区について、地権者との協議等を行い、事業化の機運を高める。			
	事業化を検討している区域における、地権者の事業への参加意向確認率	0%	%	80%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	－	－	雲井通 6 丁目街区都市再 開発支援事業	都市再開発支援 A=0.9ha	神戸市	■	■	■			50	－	
	A13-002	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	－	－	三宮交差点南西街区都市 再開発支援事業	都市再開発支援 A=1.0ha	神戸市	■	■	■	■	■	24	－	
	A13-003	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	－	－	旭通五丁目地区都市再開 発支援事業	都市再開発支援 A=1.1ha	神戸市	■	■	■	■	■	50	－	
	A13-004	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	－	－	三宮駅北東地区都市再開 発支援事業	都市再開発支援 A=3.6ha	神戸市	■	■	■	■	■	50	－	
A13-005	市街地	一般	兵庫県	間接	雲井通 5 丁 目再開発株 式会社	－	－	（仮称）雲井通 5 丁目地 区第一種市街地再開発事 業	市街地再開発 A=1.3ha	神戸市	■	■	■	■	■	15,000	1.2	－	
A13-006	市街地	一般	神戸市	間接	雲井通 5 丁 目再開発株 式会社	－	－	（仮称）雲井通 5 丁目地 区第一種市街地再開発事 業	市街地再開発 A=1.3ha	神戸市	■	■	■	■	■	15,000	1.2	－	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-007	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	－	－	雲井通5・6丁目地区都市 再開発支援事業	都市再開発支援 A=2.4ha	神戸市				■	■	60	－	
	A13-008	市街地	一般	神戸市	間接	（株）神戸 サンセンタ ープラザ	－	－	サンセンタープラザ街区 都市再開発支援事業	都市再開発支援 A=1.58ha	神戸市				■	■	18	－	
	A13-009	市街地	一般	神戸市	間接	雲井通5丁 目再開発株 式会社	－	－	防災・省エネまちづくり 緊急促進事業（雲井通5 丁目地区第一種市街地再 開発事業）	市街地再開発事業 A=1.3ha	神戸市				■	■	3,600	－	
											小計							33,852	
											合計							33,852	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
神戸市において、評価を実施	令和6年度
	公表の方法
	神戸市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・雲井通5丁目地区は、着工に向けた市街地再開発事業にかかる手続きが完了し、令和5年10月に既存施設の一部構造物の解体が完了したため、耐震性が不足している建物を除却することができた。 ・事業化を検討している地区のうち、一部については、再開発準備組合の設立や建て替えに向けた検討会が開催されるなど、事業化の機運を高めることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・事業化を検討している地区について、現況調査や課題抽出などの調査検討を行い、再整備に向けた基礎資料（地積、権利関係、耐火率、耐震化率等）を収集することができた。 ・サンセンタープラザ街区や三宮交差点南西街区を含む「三宮センター街周辺エリア」では、令和6年3月に「まちづくり検討会」が立ち上がり、まち全体のまちづくりの方向性を検討するなど再整備に向けた機運が高まっている。

○特記事項（今後の方針等）

・雲井通5丁目地区は、令和9年12月完成を目標に、第一種市街地再開発事業を進めていく。 ・雲井通6丁目街区は、市街地再開発事業の着実な事業化に向けて、都市計画決定等手続きや事業計画の詳細検討を地元地権者と共に進めていく。 ・サンセンタープラザ街区は、建て替えのパターン等に関する参加型の意見交換といった取り組みを進めるとともに、次のステップとなる再開発協議会の役割や構成について理解を深めながら、建て替えに対する区分所有者のさらなる機運向上を図っていく。 ・その他の地区においては、地権者等の意向把握等に努めながら、地区の状況に応じて再整備に向けた支援を検討していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	雲井通5丁目地区について、耐震性が不足している建物を減少させる（耐震性が不足する建物の床面積の割合）		
	最 終 目標値	0%	
	最 終 実績値	0%	
2	事業化を検討している地区について、地権者との協議を行い、事業化の機運を高める（地権者の事業への参加意向確認率）		
	最 終 目標値	80%	都心三宮の再整備においては、継続的に地元組織等と計画や事業の進捗状況等の共有をはかり、協働で取り組みを進めている。事業化に向けた検討を進める中で、地権者による検討会を始めた地区もあり、再整備に向けた機運が高まりつつある。一方、事業化を検討しているものの、再整備に向けた機運醸成に時間を要しており、本計画の期間においては権利者の参加意向を確認できていない地区もある。
	最 終 実績値	40%	